

【4月刊】

野村望東尼 姫島流刑記

——「夢かぞへ」と「ひめしまにき」を読む

浅野美和子 (あさの みわこ)

2019年4月刊

定価:本体3800円+税 発行所 石風社

A5判上製540頁 (口絵カラー 4頁+口絵モノクロ 8頁)

ISBN978-4-88344-283-6 C0095

筑前勤王党二十一人が

自刃・斬罪に処せられた

慶応元年の乙丑の獄

歌人野村望東尼も連座

糸島半島沖の姫島に流罪

平野国臣ら勤王の志士と交流を持ち、高杉晋作を匿った
ことでも知られる幕末の勤王歌人・野村望東尼。本書は、
望東尼直筆の稿本を翻刻し注釈を加えた流刑日記である。

本書で筆者が意図するところは次の三点である。

一つは原文になるべく忠実に翻刻すること。江戸時代には統一された仮名遣いは無いが、現代から見れば、文章語には共通性があり、どの地方の人が読んで理解可能であった。その仮名遣いは、いわゆる「現代仮名遣い」と「歴史的仮名遣い」が交じっているように見える。それらは封建社会の特質が文章にも表れているのであって、翻刻にあたっては、それらを現代の視点から勝手に書きかえてはならないと筆者は思うからである。

二つ目は、難解な言葉に注釈を付けたこと。

最後に、『夢かぞへ』『ひめしまにき』の成立した時代背景を見ながら、この日記を全体として読み込んだことである。



装画：野村望東尼『獄中図』（『望東尼姫島書簡集 一』より）
福岡市博物館所蔵 画像提供：福岡市博物館/DNPartcom

***** 目次 *****

- 一 『夢かぞへ』『ひめしまにき』以前のこと
- 二 夢かぞへ 慶応元年（一八六五）六月～十一月
- 三 ひめしまにき 慶応元年（一八六五）十一月～慶応二年三月
- 四 姫島脱出
- 五 和歌作品の検討
- 六 夢かぞへ 原文
- 七 ひめしまにき 原文

浅野 美和子

1934年、岐阜市生まれ。1956年、愛知学芸大学史学教室卒業。3年間一宮市萩原小学校に奉職。1974年、女性問題グループ「あごら」に参加。女性史、女性問題の研究をする。1976年、78年まで名古屋大学国史研究室の研究生となる。1981年、愛知教育大学大学院教育学（日本史）修士課程修了。専門学校、高等学校、大学などの非常勤講師を勤める。

著書 『女教祖の誕生』藤原書店 2000年
『ジェンダーの形成と越境』桂文庫 2003年
共著 『女と男の時空』近世篇 藤原書店 1995年
『尾西市史』通史篇上下 1998年／資料編 2001年
その他論文数編

* * *

ご注文書 【貴店番線印】	注文	日付	ご担当	ISBN978-4-88344-283-6 C0095
	冊	/	様	野村望東尼 姫島流刑記 ——「夢かぞへ」と「ひめしまにき」を読む 浅野美和子 定価:本体3800円+税
	好評既刊書	医者、用水路を拓く () 四六判上製377頁 定価1800円+税 978-4-88344-155-6 C0036 中村 哲 (冊)		
取扱	地方小出版流通センター／日販 歙谷書店／きんぶん図書		石風社 福岡市中央区渡辺通2-3-24ダイレイ第5ビル5階 092(714)4838	

【ご注文は石風社 FAX:092 (725) 3440まで】